



CSN だより

第3号

平成21年2月1日

特定非営利活動法人
キャリアサポートネットワーク
千葉県船橋市緑台1-3-1-304
TEL: 047-440-1790
http://www.cs-network.jp

高校生のための職業人インタビュー授業

県と NPO の協働事業提案制度に採択される

『県とNPOの協働事業』とは、千葉県が抱える課題について、県とNPOとが対等の立場で、それぞれの目的を踏まえ共通の目的を設定し、一つの事業を協力して実施することにより相乗効果が期待される事業について、NPOからその創造性、専門性等を生かした提案を公募し、NPOとの協働事業として実施するものです。キャリアサポートネットワークは、千葉県の高校生に職業人へインタビューすることを通して、仕事のやりがい、働きがいを理解し、将来のキャリア形成へ活かすためのプログラム「高校生のための職業人インタビュー授業」を提案し、21年度の実施として採択されました。

この授業は、千葉県と協力して、高校生へのキャリア教育をより一層充実させるための試みです。インタビュー授業の実施後は、事前事後のアンケートを中心に効果測定を客観的に分析し、その手法手順をマニュアル化し、県下の高校へ広げていくことを期待しています。

【実施校選定基準および準備・実施役割分担表】

(提案書より抜粋)

【実施校の選定基準】 NPOと協力して生徒の職業意識、就労意欲を高めることにより、卒業時の進路未定者を減らすことを期待する高等学校。

下記表中の時期日付は、職業人インタビュー授業を11月実施と想定して記載しているが、実際の実施校の年間スケジュールにより協議して決定する。

期	内容	実施手順 (NPOと学校の役割分担)
21年5月以降	1回目 事前打合せ	・実施の目的と期待する効果について確認、学校での実施取り組み内容の確認、実施時期の協議
21年6月～11月 (実施3か月程前～実施時期まで 随時)	2回目 ～随時 打合せ	↓ ・プログラム詳細の作成と準備

21年9月～11月	授業の実施	・プログラム実施への講師、担当者派遣
-----------	-------	--------------------

21年12月 (実施直後)	実施後打合せ	・実施に当たっての運営上の反省と改善案の検討 実施上の運営の課題と改善案
22年3月 (実施後3ヶ月以内)	実施報告書の作成	・実施後の効果測定の取りまとめと分析、報告書の作成と県への提出。

(記 大島 啓孝)

キャリア研修プログラム2008を終えて

昨秋10月18日、3回目を迎えたキャリア研修プログラム2008“は『カウンセリングマインドのあるファシリテーター』をテーマに、寺田正美先生を講師に迎え、開催いたしました。

当日は、寺田先生のご指導をCSNメンバーおよびビジター参加の方たちが熱心に受講いたしました。また一昨年、昨年と続き当研修が無事開催できたのも皆様の熱意があったからと、心から感謝いたします。



昨年の小澤隆司先生による“カウンセリング・スキルと傾聴基礎”に続く企画として参加の方からもよい経験になりましたとの感想をいただきました。

研修内容は、「個への関わりの確認のワーク」「6つの態度」「POPOPO」などさまざまなグループワークを通じて実践的な研修になったかと思えます。キャリア・コンサルティングの効果的普及のあり方に関する研究会(木村周会長)は、標準レベルのキャリア・コンサルタントを指導するための必要な4つの能力として、①ケーススーパービジョン能力、②グループファシリテーション能力、③トレーニング能力、④組織への働き能力を挙げています。キャリア研修プログラムは、ひとつのきっかけです。これを機会に日常での学習、自己研鑽に励みたいものです。

(記 西原 真人)

高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究 実施支援2年目を終えるにあたって

前年度に引き続きキャリア教育の在り方に関する調査研究の支援を続けてきましたが、生徒諸君が将来の進路の選択・決定を先送りするという傾向、目的意識が希薄なまま進学や就職する者が相変わらず増加している、このモラトリアム状態（いつまでも大人社会に同化しない・あるいはできない青年像）の傾向は、高等学校の普通科において強いのではないかと指摘があり、2年前より都道府県教育委員会からの申請により、県内指定4校を対象に「高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究」の支援を行ってきました。

推進校である東金高等学校・流山北高等学校・柏陵高等学校・松戸馬橋高等学校においては、前年度同様、各校の状況に応じ研究課題を設定し進めている。各学年に応じたキャリア発達の充実・改善を促す為、

- ・1年生向け職業体験セミナー(企業勤務経験者OBとインタビュー方式での企業内業務紹介)
- ・1・2年生向け講演、保護者対象セミナー(コミュニケーションの取り方)
- ・全学年向け個別進路・就職相談
- ・ミニセミナー、インターンシップ体験活動前セミナー(一般社会常識(学校と仕事の違い))
- ・ビジネスマナー(身だしなみ・挨拶の仕方・言葉づかい・電話の応対等)、文書(礼状等)の書き方・仕事の基本などを指導
- ・就職・進学等必要な企業内容や雇用情勢等の現状を理解し、就職・進学等の進路の選択決定に際しての能力を身に付けてもらう活動。

等を実施しており、各学校には、キャリア教育推進委員会が設置され、当CSNからキャリアカウンセラーを派遣し支援しているものです。



初年度は、

会員各位は周知の通り、実施の為の準備、各校への文部科学省の主旨の確認等が十分でないままでのスタートとなりました。早い学

校では9月からのスタートとなり、各校とも、校風・生徒の進路状況さまざまであり、各校の進路指導教諭との打ち合わせも、試行錯誤しながらの支援開始となったものです。

支援内容は担当しているキャリアカウンセラーと学校との間で、学校サイドの希望を取り入れながら、支援内容を決定し実施してきました。

実施内容は、個別相談・学年別の一斉またはクラス別でのセミナーが主体でしたが、生徒達自身に



キャリアなどの大切さが浸透していない状況での講演やセミナー・個人

相談には集中力を欠いているように感じました。この課題を改善する方法として2年目には、クラス別またはグループ分け、セミナーの座学を対話形式、そしてワークを取り入れた支援を増やすなど、早い時期から学校との打ち合わせを重ねて進めてきました。

支援当初は、学校側は外部コンサルタントが介入するという初めての取り組みで、何をどのようという戸惑いが多々見受けられましたが、今年度は2年目ということもあり進路指導の教諭方とも上手く連携し推進することが出来るようになった中で更には各学校の進路指導教諭方もCSN側の提案や意向に熱心に耳を傾けてくださり、セミナー・ミニセミナー・進路個別相談・面接指導・職業人インタビュー・等、あらゆる面に於いてほぼ順調に支援事業を推進することができたと思っております。

学校別事業内容：

- ・東金高等学校、3年生に就職希望対象者を主とした全体講話・個人相談・面接指導、
- ・流山北高等学校、3年生主体の個別相談・全体面接指導・進学・就職別の面接指導、
- ・柏陵高等学校、3年生の自主的申請による進路個別相談・面接指導・入学論文添削・1年生対象の社会人講話・インターンシップ実施前職業体験前授業、

- ・ 松戸馬橋高等学校、3年生主体の進路指導・面接指導・1・2年生対象の進路講話・職業理解の職業人インタビューセミナー、

流山北高校では、教諭の事前確認による指名の個人相談が行われましたが、この方法は効率的ではないかと思いました。個人相談・面接指導には高い評価をいただき、支援内容に関しては自信を持ってよいと感じました。

少々残念なことは、各校とも1・2年生の相談が少なかったことです。

それでも、1・2年生対象の職業人インタビュー・職場体験前授業も、実施後のアンケートの集計結果で各校ともに高い評価をいただいたのは大変嬉しい限りです。

個別相談・面接指導も活用の範囲が広がってきたとは思いますが、個別相談での各カウンセラーが、どこまで生徒のプライバシーに踏み込んで話をしているのかが、悩めるところで模索しながらのアドバイスということもありました。

上記2年間の経験を踏まえ、事業計画最終3年度を迎えるにあたっての課題として、

- ・ 各高校の進路指導先生方と、学校個々の特色・校風・学年に合ったセミナー計画、学校年間教育計画作成段階でのキャリア教育事業の組み入れ検討依頼
- ・ 進路指導の教諭方とのテーマ別事前打ち合わせの徹底
- ・ 生徒(1・2年生含む)に対するPR方法
- ・ カウンセラーの学校別専属化

以上の課題改善を含め「高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究」最終年度の事業計画に取り組んでいきたいと思えます。

関係各位のご協力よろしくお願い致します。

(記 西原・水間・関本・笠原・岡田)

CSN2008年度女性支援を振り返って

CSNでは今年も昨年度に続き、川崎市男女共同参画センター(すくらむ21)の「女性のための就労応援フェア 再就職のためのレッスン」に12月2日、5日両日お手伝いしてきました。このイベントは、同センターが毎年開催しているもので、「ハローワークの利用法」、「キャリアの棚おろし」など就職活動に必要な基礎的なことから、「メイクアップレッスン」や「服装アドバイス」など女性ならではの

プログラムを豊富に用意し、就職活動に役立ててもらおうというものです。一時保育なども設備があり、女性がひとりでも多く、社会で活躍する後押しをしようという意気込みが感じられます。参加者は、時間帯ごとに自分が必要と思うプログラムを選んで参加することができますので、限られた時間で効果的に受講することができます。



当CSNでは、「面接レッスン、履歴書の書き方」を山川ひろみ、水間眞弓両名が講師を担当してきました。同講座

では、面接の手順や質問されるポイント、履歴書などでどのようなアピールが効果的ななど、単なるマニュアル知識だけでなく、それぞれの方が自分らしいアピールをできるようにアドバイスも併せ行いました。また模擬面接を必ず行い、頭で理解するだけでなく身体で体感して、今後の就職活動に実際に役立つことを意識して行いましたが、受講者の皆さんはいずれも熱心に参加されていました。

受講された皆さんが、それぞれの企業や職場で活躍できるよう面接でリラックスして望めることを願っています。

CSNでは、女性支援の部分は決して数多いとはいえませんが、今後も着実に一人でも多くの女性を担っていくと考えています。

(記 山川、水間)

2008年度大学事業をふりかえって

大学関係では、昨年より千葉大学亥鼻キャンパスでの学生相談室の相談業務がスタートした。学生生活の相談は2年前より同キャンパスでスタートしているが、キャリアや就職相談は始まったばかりとあって学生の認知度も低く、ポスターを学部事務室や研究室棟の入口付近に掲示するなどして少しずつ相談室を訪れる学生は増えてきたが、まだまださらなる広報や工夫が必要である。取り組み自体の実績数が少なく、評価というほどの状況ではないが、今まで相談に訪れた学生への対応としては高い評価を頂いている。

来年度は、他大学でのキャリア授業もスタートすることもあり、さらに企画の提案に力をいれていきたい。

(記 大島)

最近の就職事情と求人動向

昨年の求人事情は夏過ぎてから一変した。現在の求人数は夏前の求人数と比べ約3割減となっている。ジョブカフェちばへやって来る若者の数も昨年の同日と比べ2割～3割増えている。学生も増えている。

建設業	28%ダウン
製造業	30%ダウン
運輸 通信業	前年比横ばい
卸売 小売業	前年比横ばい
金融 保険 不動産業	30%ダウン
飲食店 宿泊業	25%ダウン
医療 福祉業	前年比横ばい
教育 学習支援 サービス業	5%アップ

求人数は前年比8%のダウン。

建設業、製造業、飲食店、宿泊業の求人の落ち込みが大きい。

運輸業の求人数は横ばいであるが月給がダウン傾向にある。

求人受理件数が減少傾向にある中でフルタイムパート求人（時給制 9:00～17:00）が増加している。企業の採用要求が正社員での求人ではなく直接雇用ではあるがパート求人に流れているのではないかと推察する。新聞などで問題になっている派遣求人数自体は減少傾向にある。その分もフルタイムパートに流れているのではないと思う。

正社員求人の減少は続いているが東京地区はまだ減少幅が少なく感じる。

求職者の増加が顕著であり失業率は4.5%にせまっているのではないと思う。

最近の経済情勢をみると景気は弱まっており、雇用情勢は悪化しつつあります。完全失業率は上昇傾向で推移し、有効求人倍率は低下しています。企業のリストラや倒産の増加など雇用情勢が悪化する中で、ジョブカフェちばへリストラにより相談に来る若者が増えています。

外資系IT会社、不動産会社、建築会社、精密機器会社をリストラになった若者や、大学卒業時から5年レンタルビデオ店でアルバイトをやってきたが、父親が最近リストラに合い、母親も派遣会社を終了になり早くなんでもいいから正社員を目指せと親から急き立てられて相談に来る方もいます。

千葉県は緊急雇用対策として11月にジョブカフェちばに緊急就職相談窓口を設置。12月27日、28日の2日間は年末緊急特別就職相談会がジョブカフェちばで開催されました、ついこの間までの売り手市場の雇用状況は、一変様変わり状況になって

います。職を求める若者がやりたい仕事、就きたい仕事にチャレンジすることを支援しています。

（記 大平、川端、萩原）

＜書籍紹介＞

湯浅 誠 著 『反貧困一すべり台社会からの脱出』
2008 岩波新書



湯浅氏は NPO 法人 自立生活サポートセンター「もやい」の事務局長として貧困者支援活動をしている、社会運動家である。また、昨年暮れに「派遣切り」の緊急対策として日比

谷公園に「派遣村」を開設し、村長として活動の先頭に立っていた人物でもある。

湯浅氏によると、貧困者は社会から「五重の排除」をされているという。①教育課程からの排除、②企業福祉からの排除、③家族福祉からの排除、④公的福祉からの排除、⑤自分自身からの排除である。貧困は、ただ収入が少ない（ない）というばかりではなく、社会資源の貧困、情報の貧困、人的ネットワークの貧困と社会の負のスパイラルに陥ってしまう危険がある。社会のセーフティネットは、網ではなく大きな穴であり、一度落ちてしまうとどん底まであつという間に落ちてしまうのだという。

（記 早川）

NPO情報

毎年千葉県が主催するちばNPO月間の一環で『NPO活動写真展』が開かれています。今年はわれわれキャリアサポートネットワークの活動写真も掲示されており、1月9日から千葉市 きぼーる他で順次千葉県各地で開催され、2月4日～2月11日浦安市市民活動センターでの開催が最終となります。その他、インターネット上で千葉県NPO情報ネット等で紹介される予定です。

【活動写真展開催予定】

きぼーる（千葉市）：2月16日（月）～21日（土）

千葉県庁1階渡り廊下展示コーナー：1月19日（月）～2月27日（金）

千葉県庁19階展示コーナー：1月19日（月）～2月27日（金）

プラーレ松戸6階：1月28日（水）～2月3日（火）

浦安市市民活動センター：2月4日（水）～2月11日（水）

編集後記 未曾有の不況のなか、公的支援機関の中や高校、大学での就職、進学相談にCSNメンバーが奮闘しています。暗いニュースばかりの中、相談に来られた方の就職が決まった時は明るくなります。